

至誠館大学

科目名	体育科教育法Ⅱ			コード			
英語表記	Study on Physical Education Method 2						
担当教員名	岡村 豊太郎			年度	平成28年度		
基準年次	2年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態	教職		
<p>体育科教育に関わる運動発達や障害の各段階における運動教育の在り方について認識を形成すると同時に、各種の領域における学習指導計画作成を実践する。</p>							
到達目標							
<p>1) 体育教材としての各運動を理解する。2) 運動発達と人格や学習の適時性を理解する。3) 体育学習と動機づけに理解する。4) 発達段階と運動の関連について理解する。5) 学習効率を高めるための工夫について理解する。6) 学校体育と社会体育の関係を理解する。7) 障害者とスポーツ指導について理解する。8) 各種領域の指導案作成ができる。</p>							
授業計画							
第1回	遊びとスポーツ(遊びとスポーツの概念とその関連性の理解)						
第2回	遊びスポーツと体育(学習内容としての遊び・スポーツ)						
第3回	運動発達と人格の関連性(人間の成長段階と運動のうりょく・人格の形成の関係)						
第4回	運動発達と学習の適時性(運動発達とレディネス・臨界きの関係)						
第5回	体育学習と動機づけ(体育の学習意欲と指し指的指導)						
第6回	人間の体力と運動(生涯にわたる運動発達と学齢期の運動)						
第7回	中高齢期と運動(学校キに形成されて置くべき運動発達の基礎)						
第8回	学習形態と学習集団(学習組織としての学習形態と学習組織)						
第9回	要求水準と目標(目標を設定することの意味、学習指導案の目標の意味)						
第10回	社会体育と学校体育(それぞれの特性の理解と関連性)						
第11回	障害者とスポーツ指導(障害を持つ人々のスポーツ指導と留意点)						
第12回	体作り運動の学習と指導(体づくり運動・体ほぐし運動の指導案作成と検討)						
第13回	陸上運動の学習と指導(陸上運動の指導案作成と検討)						
第14回	ゴール型種目の学習と指導(サッカーの指導案作成と検討)						
第15回	武道の学習と指導(柔道の指導案作成と検討)						
評価方法及び基準			評価項目と割合(%)				
			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				20	30	50	
授業外学習			テキスト、教材				
参考書			受講生へのメッセージ				
キーワード							
学習指導要領、学習指導案							